

第三回 全国俳句大会 最終選句のご紹介

選句、選評 佐々木 建成（俳人・天穹俳句会名誉主宰）

自由題部門

入賞					優秀賞		会長賞		受賞
九州	中部	東北	東北	北海道	関西	中部	関東		支部名
高橋 栄二	柳澤 寿重	矢口 米雄	石黒 秀雄	佐々木 三枝	二宮 健	大内 信	尾張 幹		会員氏名 (敬称略)
スコールで渴きを癒やすダムの肌	屋下がり湖畔に揺らぐ夏帽子	夕映えにはらりと散りし黄菅かな	阿字観を修め高野の白雨かな	雷鳴も仰向寝入る大型犬	万灯会終りて杜の闇深し	清流の音下に聞く夏料理	<p>（尾張さんより、受賞のお喜びの声） 第三回JTB OB会全国俳句大会に会長賞として選んでいただき光栄です。第一回目の時にも選んで頂き、今回が二度目なので驚いています。昭和九年生まれの小学生は、あの昭和二十年八月は、小学六年生で戦中・戦後（直後）のことはよく記憶しています。そして私は最後の旧制の中学生でした。八月はやっぱりあの頃のことを人生の中で大きなショックな記憶としていつまでも残っています。戦中の昭和、戦後の昭和（貧困・復興・躍進・停滞・成熟代・さまざまななど）、昭和の六三年間のうち三〇年をJTBで過ごさせて頂きました。充実した日々が多かったです。JTB OBとして晩節を汚すことなく過ごしていきたいと思つています。『今日ひと日きのふにまさる秋日和』</p>		選句
							<p>（選評） 8月は広島原爆忌（6日）、長崎原爆忌（9日）、終戦記念日（15日）、更には先祖の墓参りなど、戦争のこともや亡くなつた人を思い出すことが多いものです。特に今年の8月は令和の御代に変わったので昭和への思いが一層深くなつたと感じたのでは。</p>		選句
							<p>八月や昭和に還る日々多し</p>		選句